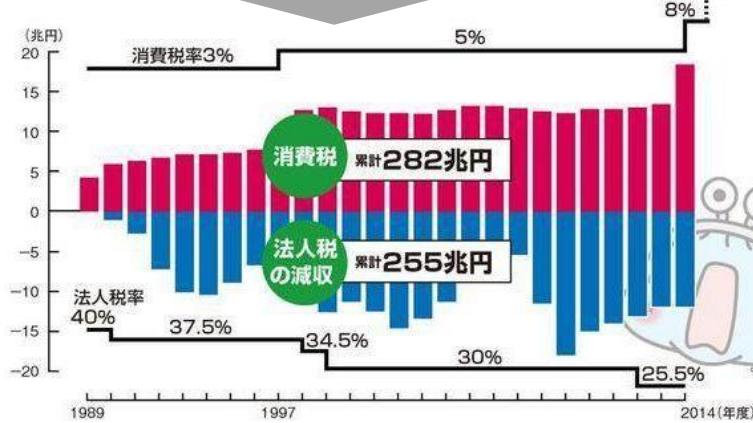


豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一六六
Tel: 三四・四七二
毎週一回発行

消費税増税に 反対する！

消費税は大企業減税などの穴埋めに



日本共産党の志位和夫委員長は10月30日、衆院本会議で代表質問を行い、消費税増税に反対しました。その論戦内容を紹介します。

総理は、来年10月から消費税を10%に引き上げると宣言しました。わが党は、所得の少ない人に重くのしかかる消費税にはもともと反対ですが、今回の増税

計画にはそれにとどまらない重大な問題点がいくつもあります。まずこんな経済情勢のもとで増税を強行していいのか。

総理は、2014年4月に8%への増税を強行したさい、「増税の影響は一時的」「ワンショット」と繰り返しました。しかし現実はどうなったか。2人以上世帯の実質家計消費は、増税前の13年には平均で364万円だったのが、増税を契機に大きく落ち込み、4年たっても回復せず、最近1年間は平均で339万円。25万円も落ち込んでいます。「一時的」どころか、深刻な消費不況を招いているではありませんか。

こうした状況下で、再び5兆円もの増税を強行すれば、消費はますます冷え込み、日本経済に破滅的影響を及ぼすことは明らかではありませんか。

◆増税中止こそ

最良の景気対策

政府は、中小小売業に対し、「ポイント還元」なるものを実施すると言いますが、麻生財務大臣はこう言っています。

「田舎で魚屋で買い物したことがあるか知らないけど、大体クレ

ジットカードなんかでやっている人はいないからね。そういうところで……はい、8%、10%還元なんていう話がどれだけうまくいくか」

消費税増税の担当大臣が実現性に疑問符をつけているではありませんか。仮に実現したとしても、この制度は中小小売業者に多大な負担と混乱を強いることになるでしょう。そして何より一時的な施策にすぎません。景気対策というなら、増税を中止することが、最良の景気対策ではありませんか。

◆大企業から献金もらって減税、庶民には増税

安倍政権のもとで、大企業に対して4兆円もの減税がばらまかれました。自民党に対する企業献金は13億円から23億円に倍増しました。財界から献金をもらい、空前の利益をあげている大企業に減税をばらまき、その穴埋めのために庶民から増税を搾り上げる。これは、政治の姿勢として根本的に間違っていると考えませんか。

来年10月からの消費税10%への増税は、きっぱり中止すべきです。社会保障と子育て・教育のための財源というなら、富裕層と大企業への優遇税制にメスを入れ、応分の負担を求める税制改革に取り組むべきです。

愛知自治体キャラバンが要請 豊田市に社会保障の充実を求めて

愛知県内の全自治体を訪問し、各市町村に対して医療・福祉・介護など社会保障の拡充と、国や愛知県への意見書の提出を求める愛知自治体キャラバンが、23日豊田市で要請と懇談を行いました。

今年度は、国民健康保険の都道府県化や第7次医療計画、第7期介護保険事業計画等が同時にスタートする、診療報酬、介護報酬、障害福祉サービスのトリプル改定が行われ、医療と



自治体キャラバン
要請と懇談

介護、社会保障制度改革の節目の年です。

事前に届けられた要請に対する回答を市から説明を受けた後、参加した市民団体から切実な声が多くなりました。

障がいを持つ親の会の方は、「障がい者の居場所」の整備を進めて欲しいと述べられました。市は、今後、検討したいと答えました。

また、国保制度の改善を求める会の方は、高すぎる国保税の引き下げを求めました。さらに、新婦人豊田支部の代表は、学校給食の値上げ反対・無料化を求めて発言。それに対して、現在、食材費は1食分で20円のコスト高になっているが、そのままの金額を給食費として値上げするかどうかは検討中だと答え、「値上げ幅」について含みを持たせた答弁を行いました。

愛知自治体キャラバンは、要請に対する文書回答を求めています。豊田市は、面談での回答にとどめて文書回答は拒否しています。県下の他の全ての市町村は文書回答しています。対応の改善が求められます。



前川喜平さん講演会 革新・愛知の会 加計疑惑、きわめて不公正、不透明

革新・愛知の会が10月30日、名古屋市内で文科省元事務次官の前川喜平さんを招いて講演会を開催しました。会場の日本特殊陶業市民会館ビレッジホールは満席で、第二会場として地下楽屋も使う盛況ぶりでした。

記者会見や首相官邸に呼ばれた時の裏話、今年2月に名古屋市長立八王子中学校で講演した内容などを、当時の心境も併せて話される前川氏に、会場は沸きました。

森友学園と加計学園の問題に共通しているのが、規制緩和の名の下に特権を与えていること、と前川氏。国民の税

愛知県原水爆被災者の会（愛友会）は26日、平和行政と被爆者支援策の充実・強化を求め豊田市を訪問し要請を行いました。根本みはる議員、本多のぶひろ市議選予定候補が同席しました。被爆二世である大村市議は、愛友会の役員として参加しました。

愛友会は、県内の全自治体（県と54町村）を訪問し、懇談する「被爆者行脚」を行っており、今年で51回目。その一環として豊田市を訪問

金が不当に使われた背景に、国の動きと地方の動きが連携していない、どこかに司令塔がないとできない、と前川氏は説明を始めました。

元官僚として、いかに加計学園の獣医学部新設が不公正で不公平で不透明なのかを明らかにしつつ、安保法制やNHKの問題なども挙げ、うんざりするけど、「それはダメだろ！」と言っているかないかと呼びかけました。

被爆者行脚が平和行政と支援求め豊田市訪問 全国の6割超の首長がサイン…ヒバクシヤ国際署名に賛同を

恩田明彦愛友会理事長は、自らの被爆体験を語りながら、事前に届けた要請への回答を市に求めました。ここ数年間、消極的で同じ回答が続いています。恩田理事長は、「核兵器禁止条約への賛成を求める『ヒバクシヤ国際署名』には、全国の6割超の首長がサインした。ぜひ、豊田市の市長も署名を」と求め、「命あるかぎり行脚を続けていきたい」と決意を語りました。




愛友会の恩田理事長（左から2人目）と要請行動

下山・自然観察会に行きました 後世に残したい貴重な自然



下山の自主グループが主催する10月の自然観察会では、トヨタテストコース周辺の松ヶ田和・中ツ田保全地区を散策し、この時期には、とんぼが飛び交い、自然観察指導員の方の説明で貴重な野鳥や動植物を観察しました。

途中、保全地区に隣接するところでテストコース造成工事の重機の音が響いていました。工事による野鳥などの営巣への影響が心配されます。



**第36回 あいち
赤旗まつり**

参加協力券 一般 1500円(当日 1700円)
大学生以下、障がい者、被爆者の方は無料

記念講演 日本共産党書記局長
小池 晃 参院選・統一地方選勝利へ

11月11日(日)
午前10時～午後3時 雨天決行

ご家族で楽しめる企画いっぱい

名古屋市昭和区**鶴舞公園**にて

アクセス JR中央本線「鶴舞駅」下車すぐ
地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」下車すぐ